

NEWS RELEASE

2025.03.18

運転士の視認性向上や疲労軽減の効果を検証するため、 運転士用保護メガネ(偏光レンズ)を試験導入します

阪急電鉄では、列車運行のさらなる安全性の向上を目的に、運転士用保護メガネ(偏光レンズ)を4月1日(火)から試験導入します。

今回の試験導入では、直射日光や反射光のまぶしさの緩和による信号や標識、車両機器類の視認性向上と運転士の疲労軽減の効果を検証し、今後の本格導入に向けた検討を進めてまいります。

概要は以下の通りです。

1. 実施期間

2025年4月1日(火)～ 約2か月間

※期間は変更となる場合があります。

2. 対象路線

全線(全運転士)

3. 検証内容

運転士に保護メガネ(偏光レンズ)を貸与し、列車運転時における信号、標識、車両機器類などの視認性向上と、疲労軽減の効果を検証します。

※本検証における保護メガネの着用は、天候等の状況に応じて運転士の判断により行います。

4. 着用する保護メガネ(偏光レンズ)

SWANS(山本光学株式会社製)



メガネタイプ
(フリップアップ機能付き)



クリップオンタイプ
(メガネの上に取り付けるタイプ)

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ